

船舶インシデント調査報告書

令和元年7月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（絡索）
発生日時	平成31年1月24日 10時00分ごろ
発生場所	岡山県倉敷市上水島北西方沖 水島港西1号防波堤灯台から真方位262° 1.4海里付近 (概位 北緯34° 27.9′ 東経133° 42.3′)
インシデントの概要	プレジャーボート ^{やま} 山と海 ^{うみ} Ⅱは、漂泊中、のり網の係留ロープが推進器に絡まり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成31年2月6日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 山と海Ⅱ、3.0トン
船舶番号、船舶所有者等	271-38267岡山、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 3、視界 良好 海象：波高 約0.5m、潮汐 上げ潮の中央期、潮流 西流約1.1ノット
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、主機を中立運転として漂泊中、船長が右舷船尾部で釣りに夢中になっていたところ、風潮流により南南西方に圧流され、のり網の係留ロープが推進器に絡まって運航不能となった。 船長は、救命胴衣を着用していた。
分析	本船は、漂泊中、船長が、釣りに意識を集中していたことから、圧流されていることに気付かず、のり網の係留ロープが推進器に絡まって主機の運転ができなくなり、運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、漂泊中、船長が、釣りに意識を集中していたため、圧流されていることに気付かず、のり網の係留ロープが推進器に絡まって主機の運転ができなくなったことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・漂泊して釣りをを行う場合は、圧流状況に注意を払い、周囲の適切な見張りを行うこと。